

**NEWS RELEASE**

平成28年3月8日  
スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局  
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

**スポーツを通じた国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム**

**【世界卓球クアラルンプール大会】**

**平野美宇選手とパラ卓球イブラヒム・ハマト選手(エジプト)によるエキシビジョンマッチを開催  
現地の子どもたちとの交流事業も同時に開催**

報道関係各位

日本スポーツ振興センター※1は国際卓球連盟(ITTF)、日本卓球協会(JTTA)と連携し、マレーシア・クアラルンプール近郊で行われる世界卓球クアラルンプール大会にて「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)※2」のプログラムとして卓球のエキシビジョンマッチを3月6日(日)女子団体決勝戦前にメインコートで開催しました。

本事業では、2014ITTF ワールドツアー・グランドファイナルダブルス優勝者および2016全日本卓球選手権準優勝者である平野美宇選手と、事故で両腕を失うも、口にラケットを加えるスタイルで卓球を続け、2014年世界卓球選手権東京大会にも招待されたイブラヒム・ハマト選手(エジプト)によるエキシビジョンマッチを行いました。また、現地の子どもたち29名も招待し、子どもたちとの卓球を通じた交流を行いました。

イベントでは子どもたちから平野美宇選手、イブラヒム・ハマト選手へ将来の目標や卓球以外の趣味などの質問もされ、両選手との交流を深めました。



平野美宇選手 コメント

「イブラヒム・ハマト氏は素晴らしい選手でした。また卓球は障がいの有無に関わらずみんなで楽しめるスポーツだと感じました。将来は2020年東京オリンピックで金メダルを獲得したいです。」

■ スポーツ・フォー・トゥモローホームページ  
<http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>

◀ お問い合わせ先 ▶

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局  
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

担当 小川

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-7-5 青山 MSビル 7階

TEL:03-6804-2776 FAX:03-3403-1570

日本スポーツ振興センターは、SFT コンソーシアム事務局業務を担当しています。

### イブラヒム・ハマト選手 コメント

「今回はこのような機会をいただけてありがとうございました。平野美宇選手のようなトップ選手と対戦できたことはとても光栄です。今後はさらに練習を重ね、2020年東京オリンピック・パラリンピックに出場したいと思っています。」

### 国際卓球連盟(ITTF)会長 トーマス・バイカート氏 コメント

「平野美宇選手、イブラヒム・ハマト選手、マレーシアの子どもたちの皆さんはとても印象的なパフォーマンスを見せてくれました。卓球は日本では伝統的なスポーツで日本の選手はメダルを獲得するチャンスが大いにあるので、日本スポーツ振興センターには卓球を通じてスポーツの価値を高めていただきたいと思います、それが私たちにとっても素晴らしいことだと思っています。」

### 【実施概要】「スポーツ・フォー・トゥモロー 世界卓球エキシビジョンマッチ in Kuala Lumpur」

■開催日:2016年3月6日 13:00~13:30

■開催場所:マレーシア・クアラルンプール

Malawati Stadium, Shah Alam

Persiaran Sukan, Seksyen 13, 40100 Shah Alam, Selangor, Malaysia

### ■ プログラム内容

・エキシビジョンマッチ

平野美宇選手 vs イブラヒム・ハマト選手

・卓球コミュニケーション

現地子どもたちと平野美宇選手、イブラヒム・ハマト選手との交流試合

および子どもたちによる選手への質問

・フォトセッション

SFT では今後もスポーツを通じた国際交流・国際貢献活動を継続し、より多くの人にスポーツ・フォー・トゥモローの活動に賛同していただけるよう、活動を一層拡充してまいりたいと考えております。

## 1 日本スポーツ振興センターとは

我が国におけるスポーツの推進のための中心的な役割を果たす独立行政法人。

## 2 スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)とは

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催国として、2014年から2020年までの7年間で、開発途上国をはじめとする100カ国以上の国において、1,000万人以上を対象に、世界のよりよい未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく取り組み。外務省とスポーツ庁が連携し日本国政府が主導するプログラムである。
- ・ このプログラムを、日本国政府として着実に実施していくことは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた我が国の国際公約の一つ。
- ・ 行政機関、関係団体、大学等が保有している知見の交換、各機関の連携協力を促進し、国際社会にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていくことを目的に、スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム(SFTC)を形成している。
- ・ SFTCには平成28年3月4日現在で168団体が加盟している。